



ギカイハ・ココニ・チュウモク

新規事業

平成 26 年度予算編成の 6 つの柱

- 1 新しい活力を創造するまち
- 2 未来の燕を担う子どもたちを育むまち
- 3 生きがいとやさしさを実感できるまち
- 4 快適で住みやすく、愛着を感じるまち
- 5 利便性が高く、にぎわいを創るまち
- 6 市民とともに築くまち

にぎわいを創る

高速バス乗場駐車場整備事業 1 億 3,000 万円 (土木課)

路上駐車減少を図るため、高速バスの新潟市方面乗場側に専用駐車場が整備されます。

本町排水区管渠施設改築更新事業 (長寿命化)

2,300 万円 (下水道課)

本町排水区の下水道管の老朽化による道路陥没を防止するため、長寿命化計画に基づいて、布設後 40 年以上経過している下水道管改修の設計が実施されます。

その他

県央大橋西詰周辺地域整備基本計画 策定事業(仮称) 1,026 万円 (企画財政課)

県央大橋西詰周辺地域の観光交流拠点のあり方を検討し、周辺施設の連携を図るためのエリア整備基本計画が策定されます。



新しい活力を

つばめ東京オリンピックプロジェクト 191 万円 (商工振興課)

2020 年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、産地としての貢献、また開催を契機に世界に向けて燕ブランドを発信していくため、市内関係団体と協働による事業が展開されます。

多面的機能支払交付金事業 7,376 万 6 千円 (農政課)

農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動に対し、支援が行われます。

- 農地維持支払…多面的機能を支える共同活動を支援
- 資源向上支払…地域資源(水路・農道等)の質的向上や施設の長寿命化に対する活動を支援

燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン 策定事業

15 万円 (企画財政課)

燕・弥彦地域の魅力をさらに高めるため、観光振興や公共交通の連携強化など、交流人口の拡大を図るためのビジョンが策定されます。



燕市ものづくり品質管理制度(TSO) 運営事業

1,816 万 6 千円 (商工振興課)

燕商工会議所が行ってきた地域版品質管理認証制度(TSO)を市に移管することにより、市内全事業所を対象に実施されます。

TSO…Tsubame Standard Organization



平成 26 年度
予算総額 **590 億 487 万円**
一般会計 385 億 3,700 万円 特別会計 204 億 6,787 万円

平成 26 年第 1 回定例会は 3 月 6 日～ 20 日の会期で開催。平成 26 年度予算を中心に審議しました。
26 年度に予定されている 44 の新規事業のうち、議会が注目した事業をピックアップしました。

平成 26 年度の全会計当初予算額

一般会計		385 億 3,700 万円 (357 億 5,831 万円)
特別会計	国民健康保険	83 億 2,064 万円
	後期高齢者医療	6 億 8,737 万円
	介護保険事業	75 億 9,591 万円
	公共下水道事業	37 億 6,736 万円
	土地取得	9,523 万円
	企業団地造成事業	134 万円
	温泉保養センター	廃止します
水道事業会計		23 億 432 万円
合計		590 億 487 万円 (562 億 2,619 万円)

※ () は借換債を除いた実質的な予算額。
※ 万円未満を切り捨てて記載してあるため、合計額と一致しない場合があります。

生きがいとやさしさ

健康づくりマイストーリー運動 339 万 5 千円 (健康づくり課)

元気で生き生きとした人生を過ごすために「いつでも・どこでも・だれとでも・気軽に・自分らしく・自分のペースで・自分に合った」健康づくりに取り組む「健康づくりマイストーリー運動」が実施されます。

障がい者基幹相談支援センター機能 強化事業 2,660 万円 (社会福祉課)

福祉総合相談支援体制の推進に向けた第一段階として、民間から専門職を迎え入れ「燕市障がい者基幹相談支援センター」を設置し、相談支援専門員が増員されます。



認知症対策等総合支援事業 650 万円 (長寿福祉課)

医療・介護及び生活支援サービスや地域の支援機関等のネットワークを形成し、地域における支援体制を構築するための認知症地域支援推進員が配置されます。



生活困窮者自立支援事業 373 万 3 千円 (社会福祉課)

生活困窮者の包括的な支援等、一般就労に向けた生活習慣の確立、社会参加能力の形成、就労体験の支援が実施されます。



市民とともに

ふるさと燕応援事業 30 万円 (総務課)

市外からの寄附者(ふるさと納税)に、お礼として市特産品をプレゼントすることで、燕の魅力発信を新たに展開し、交流・応援人口の拡大が図られます。

子どもたちを育むまち

燕西こども園整備事業(仮称) 6,774 万 2 千円 (子育て支援課)

(事業期間 平成 26 年～ 27 年)

燕西幼稚園と燕保育園を統合して(仮称)燕西こども園に整備。用地購入・園舎建築設計業務委託・地質調査が実施されます。

病児・病後児保育 運営事業

1,821 万 7 千円

(子育て支援課)

市内小児科医院に併設した保育施設において、病気の児童を一時的に保育する病児・病後児保育事業の運営が 4 月から始まります。



住みやすいまち

高齢者運転免許自主返納推進事業 160 万円 (生活環境課)

高齢者の交通事故防止対策として、運転免許を自主返納した満 65 歳以上の方に、公共交通手段の利用券が進呈されます。



小型家電リサイクル推進事業 (実証実験)

73 万 1 千円 (生活環境課)

埋め立て等により廃棄処分されている「携帯電話」「デジカメ」などの小型家電をゴミから資源とするため、障がい者福祉施設と連携し、ゴミの減量化・有用金属の再資源化が図られます。